



第71回 2023年7月7日 定期大会報告

会場:日立シビックセンター

あいさつ要旨

中央執行委員長 神保 政史

総合労働条件改善闘争

10年連続となる賃金水準の改善を高い水準額で実現し、波及効果が最大限発揮できたことは、統一闘争の真価と考える。今次闘争では、働き方改革やキャリア形成支援、ジェンダー平等の実現、高齢者の活躍、障がい者が働きやすい職場環境の整備にも取り組み、一定の前進を図ることができた。しかし、経済の好循環を実現し私たちの生活をより豊かにするためには、継続した賃金水準の引き上げが必要である。この認識で、2024年闘争に向けた準備を進める。

政策・制度実現

本定期大会は12年ぶりに地方開催とし、日立市にお集まりいただいた。

4月の統一地方自治体選挙では、組織内公認候補25名全員の当選と、推薦候補18名の内17名の当選を果たすことができた。ご支援いただいたすべての方々に御礼申し上げる。電機連合として、地域政策の充実・強化を図るべく政策をまとめ、連携を一層強化していく。

国政選挙については、組織内国会議員・茨城5区の浅野さとしの3期目の挑戦と、国民民主党の勢力拡大に向け、総力をあげて取り組む。また、2025年の参院選に向けて、組織内候補者擁立の準備を丁寧に進める。

政治アドバイザー

矢田わか子政治アドバイザーが7月末日で退任されることとなった。2016年7月の参院選で初当選して以来、私たちの声を国会に届け、多くの実績を残していただいた。特



に、コロナ禍における小学校休校への対応や妊婦さんを守る政策、ワクチンの職域接種、所得制限撤廃、半導体の国内生産体制強化への予算措置などについて誰よりも早く問題点を指摘し、実現できたことは矢田さんの粘り強い取り組みの成果である。これまでのご功績に敬意を表するとともに、新しいステージでのご活躍を祈念申し上げます。

電機連合結成70周年

電機連合は1953年に結成し、70周年を迎えた。これまで電機連合を支え、発展にご尽力いただいた全ての方々から感謝申し上げます。大きな転換期を迎えている今こそ、加盟組織・地協の皆さんとともに新たな時代に向けた労働組合を築き上げていく。

すべての議案を可決・承認

電機連合は2023年7月7日、茨城県日立市の日立シビックセンターで第71回定期大会を開催しました。

第1号議案「加盟組合承認等に関する件」では、3組合の一括加盟組織への新規加盟などが承認されました。第2号議案「2022・2023年度運動方針の補強に関する件」では、6人の代議員から意見・要望が出されたのち承認されました。その他、上記を含む6議案すべてについて圧倒的多数で承認されました。

議長団



矢ヶ部 教馬 代議員 戸上電機労働組合
金滝 尚子 代議員 パナソニックグループ労連
池田 真一 代議員 ルネサスグループ連合



来賓の方々



金属労協議長
金子 晃浩 氏



国民民主党代表
玉木 雄一郎 氏



茨城県知事
大井川 和彦 氏



日立市長
小川 春樹 氏



電機連合政治顧問
浅野 さとし 氏

第2号議案 2022・2023年度運動方針の補強に関する件

代議員からの意見・要望

NECグループ連合 塩田 明 代議員



急激に変化する環境下での労働組合活動には、将来起こり得る変化にアンテナを張り、それらを見据えた課題を正しく認識することが求められる。また、具体的な対応については、胸襟を開いた議論による合意形成を行うことが不可欠である。特にわれわれ電機産業は急激な市場や環境の変化にいち早く対応し、大きな流れに向き合っていかなければならない。

23年闘争に一致団結して臨んだ結果、一定の成果を得ることができた。この流れを止めないためにも24年闘争に向け、労使の立場を尊重した協議を、電機連合にお願いする。

パナソニックグループ労連 福澤 邦治 代議員



矢田わか子の活動を長きにわたり、皆様が全力で支援いただいたことに心から感謝申し上げます。また矢田自身にも、私たち働く者の声を国会に届けるという重要な役割を担ってくれたこと、そしてこれまでの活動に心から御礼を申し上げたい。

電機連合は結成70周年を迎える。第69回定期大会で策定した中期運動方針を羅針盤とし、持続可能な労働運動を推進すべく積極果敢に挑戦することが求められている。カーボンニュートラルなど社会のうねりが必要な地球温暖化対策、持続的な人への投資や適正な価格転嫁が求められるサプライチェーン全体での付加価値循環は、組合員そして社会から共感を得られるよう具体的に考え、労働運動を進めていかなければならない。

リーディング産業の労働組合である電機連合には未来志向に立ち、前例踏襲の壁を打ち破り、多様な価値観、人と社会がつながり進化する社会運動のリードをお願いする。

三菱電機労連 浅田 和宏 代議員



今次闘争で約30年ぶりの大幅な賃金水準の改善を果たすことができた。当労連加盟組合においても最大限の波及効果を発揮し、それぞれ労働条件の向上につなげられた。統一闘争の真価が発揮され、働く価値と産業の魅力を一層向上させる取り組みであった。24年闘争においても、役割と責任をしっかりと果たし、実質賃金の向上を図らなければならない。

また、ジョブ型・日本型雇用の二者択一ではなく、組合員が安心して働ける人事制度について各労使で議論し決めることが重要である。

政治に関しては、少子化対策や国家安全保障強化などに加え、エネルギーの安定的な確保、産業の競争力強化など、日本の将来に関わる重要課題が多くあるが、優先的に解決しなければならないのは、税と社会保障の抜本的改革である。働く者、生活者の将来不安を払拭し、安心安全を確保しなければ国も企業も持続的な成長はできない。政策・制度の実現に向けた電機連合の力強いリーダーシップを期待する。

日立グループ連合 半沢 美幸 代議員



本大会を浅野さとしの地元である茨城県日立市で開催し、皆様にお越しいただいたことに感謝する。政治活動の日常化については、私たちの声をしっかりと国会の場に届けるために衆参に国会議員を再度送り出すことが必要である。

闘争では、世界に後れをとった日本の賃金水準の引き上げを継続する必要がある。昨今の環境をふまえて賃金政策を見ると、電機産業がめざすべき水準や、格差改善、生活保障のための底支えなど、労働組合として大切にすべきものについて、これまでとは異なる見え方や、一方で再認識することがあるのではないかと感じる。統一闘争に対し、会社から多くの課題意識を向けられている中で、私たちは歴史から現在を理解し、未来の姿を描き、それらをふまえて今後どうするのか、進むべき方向性を見出すことが重要である。

第1号議案 加盟組合承認等に関する件

一括加盟組織へ加盟された組合の代表者の皆さん



パナソニックグループ労働組合連合会
プライムプラネットエナジー&
ソリューションズ労働組合
伊達 真兼 委員長

三菱電機関連労働組合連合会
三菱電機マイコン機器
ソフトウェア労働組合
仮谷 敏嗣 委員長

バイオニアグループ労働組合連合会
ソアー労働組合
高橋 純 委員長



在外公館派遣者
帰任あいさつ
赤石 賢生氏



水崎 恵一 大会書記長



本部答弁

全富士通労連 松尾 剛志 代議員



2023年闘争は、電機連合統一闘争の下で従来以上に緊密な相互連携を深めた結果、中間各組合で満額回答を引き出すことができた。これは賃金水準改善をめぐる日本全体の相場形成に寄与できたものとする。しかし、国際的に見劣りする日本の実質賃金の向上や、組合員の生活の安定を図るためには、2023年闘争を一過性のものにするのではなく2024年闘争においても継続した賃金水準の改善が不可欠だと認識している。具体的な要求水準の検討にあたっては、私たちを取り巻く環境が目まぐるしく変化し、また同じ電機産業の枠組みの中でも業種、業態、コンペティターが異なる中で、個人消費を喚起し経済を好循環させることをめざした2014年闘争からの賃金水準改善の継続性という観点を大切にしながら、議論を深めていくことが肝要である。

「政治活動の日常化」については、これまで政策・制度改善の取り組みを組合員に定期的に伝えてきているが、まだ身近なものになっていないと認識している。4月に開催された電機連合とデジタル庁との診療報酬改定DXに関する意見交換では、職場委員が出席し職場の課題を提起させていただいた。政治を身近に感じる場であったと認識しており、補強にあるプロジェクトチームでは、政策・制度改善の周知と実際の参画という2つの観点で、電機本部、加盟組合それぞれの役割を明確にした上で具体策の策定をお願いする。

東芝グループ連合 荒井 聡 代議員



今や企業のベンチマーク対象が電機連合、金属労協の加盟組合企業にとどまらず海外にも及ぶ中で、多様な視点で労使の論議をしていかなければいけない場面が多くある。その時に、既成の思い込みにとらわれずに課題に対して取り組む必要がある。一番大切なことは、電機連合としての基軸を示し、全員がしっかりと共通の認識を持った上で、論議を尽くすことである。また大きな環境変化の中では、基軸そのものも見直す必要も出てくるが、電機連合の力強いリーダーシップの下、加盟組合と論議を積み重ね、お互いが納得をした上で進めていただくようお願いする。

電機連合 近藤 英弘 副中央執行委員長



▶統一闘争について

環境変化を正しく認識したうえで、変化に柔軟に対応することが重要となる。環境変化は業種、業態、規模などにより異なるが、統一闘争の持つ社会性や全体への波及効果、そして継続性を損なうことがないように、加盟組合・地協と有機的に連携しつつ取り組みを進めていく。

▶ジョブ型人事制度について

ジョブ型とメンバーシップ型は必ずしも相反するものではないと考える。個人の働きがい、やりがいを高めるという視点で労使が意識を合わせて進めていくことが重要である。電機連合として全体の合意形成を図りながら進めていく。

▶政策関連について

少子化対策など日本の構造的課題を解決し、持続的な成長を実現するためには政治による取り組みが必要である。電機連合としての政策をまとめ、持続的な成長につながるよう意見提起していく。そして組合員や社会にその意義や価値をしっかりと浸透させていく。

▶政治活動の日常化について

浅野議員との連携なども強化しつつ、組合員の意見を起点にして、線そして面へと進化させ政策実現を図ることが政治活動の日常化につながる。手段ではなく、目的を共有し、加盟組合、地協、電機連合本部の各役割をしっかりと定め、実効性のある取り組みを行う。

▶組織力強化について

私たちの運動が組合員だけでなく、社会から共感を得られるためには組織力の強化は欠かせない。それぞれの組織が成長と拡大の両輪を同時に進めることに、電機連合一丸となって取り組む。

矢田わか子政治アドバイザー 退任挨拶



2023年7月末で電機連合・政治アドバイザーの役割を終え、退任することになりました。

2000年に松下電器労組(現パナソニックグループ労連)の専従役員となり23年、2016年参議院議員選挙の公認候補者として政治を志して以降、8年半が経ちました。

皆さんのおかげで参議院議員となり、国会の中で活動し、政治の大切さを痛感しました。少しでも職場と国会をつなぎたい、政治を身近に感じてほしいと思い、実施してきた国政報告は数千回に及びます。

電機連合の働く仲間の声を力に変えて、国会で政策実現に向け、活動してきました。組合員の皆さん、労組役員、OBの皆さん、政治活動を通じてご支援をいただいた皆さん。多くの方々にお支えいただいたことを、この場をお借りして、心より感謝申し上げます。



まだまだ道半ばで身を引くことに対して、正直なところ、悔しさ、申し訳なさもあります。それでも前を向いて進まねばならないと思っています。ひとつの区切りを迎え、新たな道へ進みますが、今後ともよろしく願い申し上げます。

代議員から矢田さんへの御礼メッセージ

- 組合役員時から大変お世話になりました。矢田さんの熱意のおかげで、政治活動の日常化、政策・制度の取り組みの重要性への理解を深めることができました。この熱意を受け継ぎ、今後も政治活動の日常化の取り組みを行っていきます。これまでのご活躍に心より感謝申し上げます。
- 矢田さんととは多くの共通点があり、今回の退任は大変寂しい思いがあります。これまでのご厚情とご指導に、心から感謝を申し上げますとともに、新しい立場でのご活躍を祈念します。
- 「職場の声を政治に届けよう、だから政治家が必要だ」と組合から組合員に伝え続ける中で、矢田さんの現場に寄り添った課題認識力と卓越した行動力のおかげで、私たちの声が本当に政治の場に届くという景色を組合員に見せることができました。あの景色を常に思い出し、これからの政治活動、政治の日常化に取り組んでいきます。
- 矢田さんと共に得た学びを今後の活動に活かし政治活動の日常化、重点政策の選定、政策・制度改善等に取り組んでいきます。改めて議員活動を含めた約9年にわたる矢田さんの政治活動に心より敬意を表し、感謝を申し上げます。
- 常に組合員目線で何が課題で、何を改善しようとしているかをわかりやすく伝えていただきました。政治の日常化を着実に進めていただいたことに感謝を申し上げます。

Let's★脳トレーニング

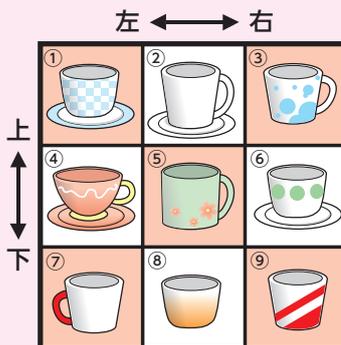
多忙な毎日からちょっと離れて、クイズで一息ついてみませんか?



机に9つのカップが並んでいます。下のデータを元に、インスタントコーヒーの粉をカップに入れていく順番を考えてください。粉はすべてのカップに2杯ずつ入れることができます。最初と最後に粉をいれるのは何番のカップ?

データ

- (1) まず最初に取り手がついたあのカップに1杯入れて、すぐ左隣のカップに2杯入れるんだ。次にそのカップの真下のカップに2杯入れて、さらにその真下のカップに2杯入れる。
- (2) 次に取り手が無いあのカップに1杯入れて、そのカップの左隣のカップに2杯入れる。次に、そのカップの真上のカップに2杯入れた後、さらにその真上のカップに1杯入れる。
- (3) 次にソーサーが無いあのカップに1杯入れて、その真上のカップに2杯入れた後、最後にその真上のカップに2杯入れる。



答え ?

最初に入れるカップ
番

最後に入れるカップ
番



- 応募方法 QRが公式サイト(<https://www.jeiu.or.jp>)からご応募ください。公式サイトからのクイズ応募の際はパスワード「sep08」を入力してください。
- 締め切り 2023年9月8日(金)
- No.1198の答え B
- 当選者発表 応募総数は、951通でした。当選の発表は賞品の発送をもってかえさせていただきます。おめでとうございました。

クイズ正解者の方から抽選でプレゼント



QUOカード 19名様



8~9月 「ねんきん共済」
募集受付中! 「悠々プラン」

今年最後の加入のチャンス!

さまざまなライフイベント(結婚・教育・住宅資金等)に対して資金準備をお考えなら、悠々プランがおすすめです。積立を継続しながら、積立金(生保分)の一部を引き出すことができます。2023年の予定利率は、1.25%(運営事務費控除後)。詳しくお聞きになりたい方は、ご所属の組合へご相談ください。

お問い合わせは
ご所属の労働組合へ | 電機連合福祉共済センター/代理店マックス/コンポーズサービス
<https://kyosai.jeiu.or.jp/>

